

広報・教育部門

応募事例名

下水道デジタルオンライン見学

応募団体名)東京都下水道局

応募事例の概要

1 事業の目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、下水道施設見学、イベントや学習事業の多くが中止されました。また、一部の事業については動画等による情報発信を行っていました。しかし、コロナ過が長期化する中でも、外部環境や参加者の多様な状況を想定した施設見学が必要と考え、非接触かつ双方向のコミュニケーションが可能な手段やツールの導入を検討し、下水道施設の存在やその魅力、意義について一般の方の理解を深めていただけるオンライン見学を実施することとしました。

2 実施の取組

(1) オンライン見学会 (ZOOM開催)

- ・普段は見ることのできない施設や実地のツアーでは案内が難しい工事現場を事前に撮影した動画により紹介
- ・千代田幹線工事は中継により工事の状況を紹介
- ・施設の規模感を強調できる映像アングルの採用、職員による解説や施工に関する苦労話などにより実際の施設見学の雰囲気演出
- ・専門用語は、わかりやすい言い回しに変更するなど、伝わりやすさに配慮し解説
- ・設備構成図などにスライドを使用し個別に解説



配信スタジオ



千代田幹線工事立坑内

参加数 742件 定員400名

(2) 有明水再生センターWeb見学

- ・Web上で施設見学を楽しめるコンテンツを作成
- ・漫画やCGでわかりやすく説明
- ・大人向け・子供向けコンテンツを用意、また英語版も用意

HPアクセス数 2600件

※ 22.1~22.6の件数



キャラクターによる施設案内



PRポイント

- ・見ることが困難な施設、実地では案内が難しい工事現場を動画や中継により紹介
- ・参加者アンケートでは、下水道のしくみや役割について、97%以上の方から「理解できた」「ある程度理解できた」と回答を得た。
- ・施設へお越し頂けない方が自宅や外出先などでも動画を視聴可能

取組みに関するエピソード

- ・水再生センターの雨水ポンプの大きさがわかるように、大きなメジャーにより表現しました。
第一基幹施設再構築事務所 設備工事課 課長代理 谷津 友一
- ・既設幹線が再構築工事によりリニューアルされていく様子がわかるように撮影を行いました。
第二基幹施設再構築事務所 工事第一課 課長代理 宮司 憲男
- ・泥水式シールドの仕組みについて、掘進状況の動画と図により、詳細に説明しました。
第二基幹施設再構築事務所 工事第二課 課長代理 岡崎 俊夫